

## 「鳥取県ICT活用教育推進協議会提言」について

平成26年10月17日

### 《鳥取県ICT活用教育推進協議会》

- 目的：情報通信技術を活用した教育の推進に関する事項の調査審議
- 設置時期：26年4月      ○委員一覧：別紙のとおり
- 会議の開催状況：第1回6月2日 第2回8月8日 第3回9月1日 第4回10月14日
- その他：第2回…鳥取市教育委員会、鳥取湖陵高校、倉吉養護学校から意見聴取  
第3回…千葉県立袖ヶ浦高校永野教諭がアドバイザーとして参加

### ○提言のあらまし

#### (1) 提言の趣旨

本県におけるICT活用教育推進のためのビジョン策定に向け、課題や今後の方向性について専門家による検討を行い提言する。

#### (2) 提言の論点別まとめ

##### 論点1) 授業のあり方・研修のあり方

- ・ICTが子どもの学力を向上させるのではなく、授業そのものの質的向上が必要
- ・学ぶ意欲を高めるためのICTの効果は導入初期に限られ、継続する傾向はない。
- ・ICTを学習の道具とすることに併せ、授業の質的向上を図る教員研修が必要

##### 論点2) 人的配置（ICT支援員等）

- ・学校自身が自校にどんな支援が必要なのかを整理し、認識することが必要となる。
- ・学校支援地域本部、学校支援ボランティア、図書館司書の方々の助けを借りるのも選択肢
- ・県全体では三段階程度の多段のバックアップ体制の構築が急がれる。

##### 論点3) 基盤整備

- ・県内すべての学校・家庭から共通で使えるインフラとサービスを構築していく。
- ・学校ごとの環境は段階的な整備指針を示し、教員・児童生徒の馴化・深化と並行して進める。
- ・インターネット回線について、速度、フィルタリング、運用ポリシー等の見直しを図る。

##### 論点4) その他

- ・指導者用デジタル教科書の整備は全国的に進められており、導入・活用は効果的
- ・学習者用デジタル教科書は、今後の技術面・制度面の動向を踏まえて検討していけばよい。
- ・BYODは将来的に前提として議論されるようになるだろうが、多くの問題を内在している。
- ・将来的にLMSを活用する場合、校務の情報化と切り離して考えることはできない。
- ・今後の教育情報ネットワークの充実には、会議体の持ち方や充実が欠かせない。

### ○今後の予定

- ・県教育委員会事務局内に設置した「ICT活用教育推進ビジョン策定PT」において、ビジョン案を策定
- ・案がまとまった段階でパブリックコメントを行い、県民意見を反映
- ・教育委員会において決定（平成26年度内）